

活発な意見交換

町内6会場で町政懇談会

これからの町のことについて考える町政懇談会は、11月26日から28日までの3日間、6会場で行われました。

町からは鈴木重男町長、觸澤義美副町長、中田直雅教育長、各課長らが出席し、町民の皆さんと対話。地区の現状や今後のまちづくりのあり方などについて活発な意見交換がされました。

冒頭で町の施策やこれまでの取り組み状況、今後の方向性などを鈴木町長が説明。さらに、担当課長より財政状況や平成25年度の新規事業などについて説明しました。

懇談では、教育長が進行役となり、身近な課題から町の施策に関するものまで、さまざまな角度から発言をいただき、町長または副町長、担当課長らが回答する形式で対話が進められました。除雪対策や携帯電話不感地区の解消、くずまきテレビの放送内容、地域安心生活支援員の役割などの質問や意見があったほか、町道整備や街路灯整備、葛巻小プール一般開放など、町の施策への評価の声も聞かれました。

町は、この懇談会でいただいた貴重な意見や提言を、今後のまちづくりに役立てていきます。



和やかな雰囲気参加者と対話する鈴木町長④
22人が参加し活発な意見交換が行われた小屋瀬農村センター会場⑤

研修を終えた高校生に感想を聞きました



上野 夏子さん
(2年・古川戸)

いつかホストファミリーに再会したい

ホストファミリーの方々はとても優しく、面白い人たちでした。いろいろな場所に連れて行ってくれたり、たくさん話しかけてくれたりと、とても貴重な経験になり、感謝の気持ちでいっぱいです。いつかまたお世話になったホストファミリーの方々に会えれば良いと思っています。ドイツ研修に参加できて本当に良かったです。



鹿糖 晟人さん
(2年・橋場)

自分の英語が通じてうれしかった

ドイツで初めて買い物をした際に、店員の方が話し掛けてきてくれて、自分の英語が通じたときはとてもうれしかったです。ホームステイは現地の日本人家庭でしたので、みんなとはまた違うものになりましたが、そのおかげでとても良い友達ができました。この研修は一生忘れられない思い出になりました。本当にありがとうございました。



遠藤 舞さん
(2年・田の沢)

自分の世界観が広がりました

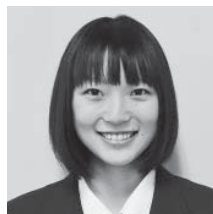
さまざまなものを見学、体験して、自分の世界観が広がりました。はじめは緊張しましたが、ホストファミリーの方々が優しく接してくれたので、すぐに慣れることができました。私の英会話力が乏しいので、うまく伝えることができなかったことは残念でした。後悔のないように、もっと英語やさまざまなことを勉強したいと思います。



木戸口 智明さん
(2年・新町)

現地のサッカークラブと交流できた

ホストファミリーの方々が温かく迎え入れてくださり、充実した生活を送ることができました。特に一緒にスタジアムでサッカー観戦したことは一番の思い出です。また、現地のクラブチームの練習にも参加し、日本と海外とのプレースタイルの違いを体感することができました。将来、ホストファミリーの方々と再会したいです。



田野 奈緒子さん
(2年・星野)

ホストファミリーに心から感謝

最初は文化の違いやコミュニケーションをうまく図れないことに戸惑いもありました。しかし、ホストファミリーの皆さんはとても親切で、たくさん思い出ができました。ドイツ研修は私にとって本当に大きな経験でした。ホストファミリーの皆さん、家族、先生方に心から感謝したいと思います。ありがとうございました。



遠藤 詩織さん
(1年・星野)

ホストファミリーの優しさに感激

ドイツに行く前は、不安でいっぱいであるのが心配でした。しかし、ドイツに着くとホストファミリーの方が優しく接して下さって感激しました。英語がうまく話せない私に、たくさん声を掛けてくれて楽しい日々を過ごすことができました。葛巻町の皆さんと、ホストファミリーの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。



①葛巻町からの参加者とマールブルク市職員の方々（市庁舎前広場に於て） ②高校の玄関前で現地の学生と一緒に ③高校の授業に参加しプレゼンテーションを行う葛巻生 ④現地の高校生との意見交換会 ⑤現地の子どもたちの名前を漢字で書いてあげる葛巻生 ⑥ホストファミリーと葛巻生全員そろっての夕食会 ⑦ホストファミリーとのお別れ会で葛巻神楽の鶏舞を披露

葛巻高原食品加工(株)とくずまき高原国際交流推進協議会（中崎和久会長）が主催した第17回欧州視察「ワインとミルクの旅」は、10月27日から11月5日までの10日間の日程で行われ、13人の参加者はヨーロッパの旅を満喫しました。

今回の訪問は、中田直雅教育長を団長に、葛巻高校の鎌田壮洋教諭が同校1、2年生の生徒6人を引率。町民は6人参加しました。

鎌田教諭と生徒たちは、ドイツのマールブルク市で、5日間ホームステイをしながら現地の高校の授業に参加。生徒らは、英語で町や学校、震災復興についてプレゼンテーションしたり、葛巻神楽の鶏舞なども披露し交流を深めました。滞在中にはハロウィンもあり、本場のイベントを体験することができました。

その他の参加者は、酪農とグリーンツーリズムの町・バインディングや世界遺産・レジデンツ、再生可能エネルギー村・ヴィルポーツリッドなどを視察しました。

お世話になったホストファミリーと一緒に



第17回欧州視察「ワインとミルクの旅」

異文化に触れ充実した研修